

再々評価審議対象事業一覧表（1事業）

事業名 (所在地)	進捗率 (H17.3)	事業を巡る 社会経済情勢の変化	事業効果の定量的分析 (費用便益比)
事業概要	途中段階の効果		事業効果の定性的分析
<p>(ため池) 地域総合オアシス事業 金岡地区 (堺市)</p> <p>【目的】 本地区は、堺市の東部地域に位置するため池（5ヶ所）について、老朽化した施設の改修を行い、洪水などにおける決壊や溢水などによる災害を未然に防止し、地域の安全なまちづくりを行うとともに、親水性の向上や水辺環境の保全に整備を行い、地域の人々に「つるおい」と「やすらぎ」を与える快適な水辺環境を創造する。 また、地震等の災害時に、ため池の水を防火用水などに活用するため、防災ネットワークとしての水路整備などを行い、災害に強い地域づくりを目指す。</p> <p>【内容】 ため池改修5ヶ所 (森池、菅池、長池、堂ヶ池、寺池) 保全施設整備 1式 防災施設整備 1式</p> <p>【事業費】 全体事業費 約11.4億円 (約10.6億円) 内用地費 (約 - 億円) 内工事費 約11.4億円 (約10.6億円)</p> <p>うち投資済事業費 約9.6億円 (約3.7億円) 内用地費 (約 - 億円) 内工事費 約9.6億円 (約3.7億円)</p> <p>( )内の数値は再評価時点のもの</p>	<p>事業採択年度 計画時 H 8 再評価時 H 8 再々評価時 H 8</p> <p>事業着手年度 計画時 H 8 再評価時 H 8 再々評価時 H 8</p> <p>完成予定年度 計画時 H13 再評価時 H15 再々評価時 H19</p> <p>(分析) 評価時に想定していた年度事業費が確保できず、4年延長した。</p> <p>(進捗状況) 再評価時 用地 - % 工事 35% 工事中 2箇所 未着手 3箇所</p> <p>再々評価時 用地 - % 工事 84% 完了 2箇所 工事中 1箇所 未着手 2箇所</p> <p>改修済のため池において、決壊及び溢水被害の防止が図られている。 親水・景観等の整備を行った施設において、快適な水辺環境を府民に提供している。</p>	<p>【諸状況】 防災機能 &lt;被害想定区域&gt; 10.65ha ・浸水想定戸数 2,081戸(計画時) 2,082戸(再評価時) 2,165戸(現時点)</p> <p>近隣小学校における学習活動の回数 ・平成12年：0回 ・平成16年：7回 上記活動に、地元水利組合等も参加。 ため池下流水路を活用した防災訓練 ・平成12年度 H13.1実施 ・平成16年度 H13.1実施以降、毎年1月に実施 H12～16：5回実施</p> <p>【地元等の協力体制】 ・「金岡地区オアシス推進委員会」を推進母体としてコミュニティが形成され、ため池環境整備内容等について検討し、それに基づき、事業を実施している。 ・森池の一部に新たに造成したオアシス農園は、すべての区画(89区画)が利用されており、その管理は地元の金岡町自治連合会が管理主体となり運営されている。 ・近隣小学校の環境学習活動において地元水利組合等が参加し、地域住民の世代間交流の活性化が図られている。 ・ため池の水を活用した防災訓練の実施により、地域住民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上が図られている。</p>	<p>計画時点 : 8.13 総便益 B = 約55.3億円 総費用 C = 約6.8億 (総事業費 C=9.17億円)</p> <p>再評価時 : 7.07 総便益 B = 約57.14億円 総費用 C = 約8.08億円 (総事業費 C=10.53億円)</p> <p>再々評価時 : 6.51 総便益 B = 約74.16億円 総費用 C = 約11.38億円</p> <p>「解説 土地改良の経済効果」</p> <p>【安全・安心】 ・洪水時における決壊及び溢水被害の未然防止、安全・安心な生活環境が形成される。 ・火災発生時の防火用水や、震災時の生活用水として活用できる。 ・多目的広場を災害時の防災拠点として活用できる。 ・平成12年度より、ため池の水を活用した防災訓練が毎年実施され、地域住民の防災意識が高揚し、また、地域防災力の向上が図られている。</p> <p>【活力】 ・農業用水の確保とともに施設管理の省力化が図られ、地域農業の振興に寄与する。 ・整備された施設(遊歩道・オアシス農園等)の利用による地域住民の交流及び活性化が図られている。</p> <p>【快適性】 ・水と緑豊かな水辺環境の創出により、快適な生活環境及び周辺地域資源と調和した美しい水辺景観が形成される。</p> <p>【その他】 ・オアシス農園・多目的広場が造成され地域住民に提供される。 ・ため池をフィールドとした環境学習が行える。 ・ため池の多面的機能が保全される。</p>

自然環境等への影響と対策	委員会における主な審議内容	評価									
前回再評価時の意見具申と府の対応方針の概要											
<p>寺池には、絶滅が危惧される野生植物として位置づけられた「オオミクリ」(富栄養湿地に自生する多年草)の生息が確認されており、改修に伴う生息環境への影響を必要最小限とする対策を検討。</p> <p>改修方法については、ため池内でのオオミクリの移植など、その保全方法について関係者と協議を進める。</p>	<p>(再評価以降の状況変化) 再評価以降の状況変化として下記の内容を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 事業費を11.4億円(0.8億円増)に計画変更した。 再評価時において想定されなかったものとして、事業期間中、個々のため池について順次、詳細調査や詳細設計を行っているが、その結果、長池の多目的広場造成箇所におけるヘドロの改良工事が必要となった。 ワークショップの取り組みによる計画内容の変更が生じた。</li> <li>・B/C 再評価時点は、本体工事のみの費用・便益を計上していたが、再々評価時においては、環境整備に係る水辺環境効果についても、費用・便益を勘案して算出した。(国のマニュアル変更) (参考)</li> </ul>	事業継続									
<b>【意見具申】</b> 事業継続	<table border="1" data-bbox="584 882 1313 1043"> <thead> <tr> <th></th> <th>再評価時の算定方法</th> <th>今回の算定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再評価時</td> <td>7.07</td> <td>5.42</td> </tr> <tr> <td>再々評価時</td> <td>8.93</td> <td>6.51</td> </tr> </tbody> </table>		再評価時の算定方法	今回の算定方法	再評価時	7.07	5.42	再々評価時	8.93	6.51	
	再評価時の算定方法	今回の算定方法									
再評価時	7.07	5.42									
再々評価時	8.93	6.51									
<b>【対応方針】</b> 事業継続	<p>なお、再々評価時の環境整備に係る水辺環境効果については、CVM調査による効果で算出し、本体工事(防災効果)とあわせB/Cは7.12となった。</p> <p>(地域住民との協働)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水利組合、自治会を中心とした「金岡地区オアシス推進委員会」を設立し、ため池の環境整備内容等について協議を行い整備している。</li> <li>・菅池では、近隣の小学校と連携し水生植物の植栽やこれを利用したものづくりなどの環境学習を実施している。</li> <li>・防災ネットワーク水路として、ため池の水を下流の水路に放流し消火活動を行う防災訓練を年1回実施し、地域住民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図っている。</li> </ul> <p>(事業の進捗状況及び今後の整備予定について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、ため池2箇所(森池・菅池)が完了し、約84%の進捗となっている。今後、長池の広場整備や未着手の寺池と堂ヶ池の防災工事を実施し、平成19年に事業完了する。</li> </ul> <p>(事業効果について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災工事の完了した菅池・森池・長池では、決壊や溢水被害の防止が図られている。</li> <li>・森池では、89区画のオアシス農園が開園し、全ての区画が地域住民により農園として利用されている。</li> <li>・親水整備の完了している森池・菅池・長池の一部では、散策やジョギングなど憩いの場としての利用や通勤・通学など生活道路としての利用が図られている。</li> </ul> <p>(自然環境等への配慮について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オオミクリ(大阪府絶滅危惧類)の生息が確認されている寺池では、堺植物同好会などと協議し、その保全を前提としたため池の改修を実施する。</li> </ul>										